

市政フォーラムの結果を報告します

その2 平田地域

7月から開催している市政フォーラム。市民の皆さんの意見を直接聞き、今後のまちづくりに生かす貴重な機会です。

今回は、10月に開催した平田地域11会場で出された意見・提案の一部を紹介します。出雲地域の報告は後日掲載します。



平田地域全体では、約1000人が参加。生活に身近な問題から、市政全体に関わる提言まで、活発な意見交換が行われました（写真は瀬分地区市政フォーラム 10月10日）

Q 小中学校の統廃合の計画はどうなっているのですか

A 平田地域の中学校については、将来的に2校にする考えを持っています。平田中学校の規模だけが大きくならないよう、関係地区と話し合いを進めているところです。来年度からは、旭丘中学校建て替えの準備に入ります。

Q 一方、小学校は、非常に少子化が進んでおり、望ましい教育環境のあり方について、地理的条件も考慮しながら、検討していく必要があります。いずれにしても、地元の皆さんや保護者と十分に話し合いながら検討していきます。

Q 7月豪雨災害を踏まえ、防災体制の再検証を

A 災害時の情報伝達については、まず、サイレンを鳴らして緊急時であることを知らせることが必要で、サイレンの届かない場所には、増設していきます。町内会などの連絡網や広報車も活用します。



7月豪雨災害で、多くの市民が避難した平田高校（7月19日）

平田地域では、ケーブルテレビにより、河川水位の状況雨量などが詳しく分かるようになってきています。これらの特徴を生かした情報提供に努めていきます。

各地区においても、災害時には地区災害対策本部を設置していただくことで、その地区の状況に応じた対応が可能になります。

さらには、災害の種類や状況に応じた避難場所や経路などを、日ごろから各町内で十分話し合っていたらいいと考えています。

事前に申請していただき、避難に支援が必要な方を地域で支えていく制度（出雲市災害時要支援者ネットワーク事業）も開始しています。

Q 道路脇の除草や河川、側溝の浚渫について

A 道路脇の除草作業。身近な環境美化に地域の皆さんの力が発揮されます



Q 今年度から、市が指定した路線に対しては、

A 『道路・河川ふれあい愛護活動助成金』制度を設けています。指定路線については、地元の土木委員などと協議して決めていきます。対象路線などについて、見直しの必要があれば、今後検討していきます。身近なところの環境美化にご協力をお願いします。

長い暗渠（ふたかけをした水路）など、構造上住民の皆さんで実施することが困難な場合は、市へご相談ください。また、船川など県管理河川

の除草などについては、県へ引き続き要望していきます。

Q 風力発電事業完成後の作業道の利活用は

A 事業者が風力発電機を作業道のために整備する作業道については、全体14kmのうち、約10kmを市が譲り受けることとしています。

日常の生活道路に利用できるとともに、山の管理など森林再生にも活用できるものと考えています。

Q 生活基盤である道路整備や地すべり対策の促進を

A 市道については、平成20年度からの10か年計画を来年度作成することにしており、これに基づいて進めていく予定です。県道や県の地すべり対策事業については、事業の促進、早期完成を強く要望しているところです。

市政フォーラムについて

のあたずねは

広報情報課

(8578)



野生鳥獣による農林作物への総合的な被害対策を検討するため、捕獲班や関係団体により構成する出雲市有害鳥獣被害対策協議会が発足（11月1日 出雲市役所）

シカがツノをこすり付けて樹皮はぎ取られたヒノキ

Q 鹿やイノシシなど有害鳥獣被害の対策を。徹底除去をお願いしたい

A 現在、市では有害鳥獣対策の電気牧柵や防護ネットなどの設置費に2分の1の補助をしています。随時受け付けていますので、支所の産業振興課へ申請してください。

弥山山系はシカの保護区となっており、県で頭数管理のための捕獲を行っているところです。一方、湖北山系は保護区域ではないので、県の許可があれば、捕獲できますので、支所に連絡してください。

今年度から捕獲班を2班編成に増強し、26頭（10月29日現在）を捕獲したところです。抜本的な解決策を探るため、出雲市有害鳥獣被害対策協議会を設置して、地元の方々と一緒に考えていきたいと考えています。わなの免許を取る際に、補助が出来ないかなど、今後も引き続き検討していきます。

Q 総合医療センターの医療体制の充実を

A 地域医療を継続するとともに、出雲圏域の医療連携の中で、回復期リハビリや予防医療の充実を図り、特色のある病院にしていきたいと考えています。

また、医師確保については、非常に厳しい状況です。あらゆる方面へ求人活動を行っており、特に島根大学医学部に医師派遣を強く要望しているところです。

Q 海岸道路の波除け対策、宍道湖防波堤のかさ上げをお願いしたい

A 冬季の波除け対策として、かさ上げや離岸堤の設置などが考えられます。費用対効果を検討しながら、部分的な高さ上げも視野に入れて検討していきたいと思っています。

また、宍道湖については、国土交通省で岸から20m程度の浅場を造っており、完成すると国道431号への波しぶきが軽減できると聞いています。